

第2回 SPERC 計算化学講演会

～有機材料創製 ミニシンポジウム～

主 催：岩手大学理工学部附属ソフトパズ理工学研究センター（SPERC）
計算化学主導型分子設計研究グループ
「計算化学主導による分子創製基盤の構築」プロジェクト

協 賛：日本化学会東北支部

日 時：2019年11月13日(水) 14:00～17:30

会 場：一祐会館 大会議室（岩手大学 理工学部）

参加費：無料（どなたでも参加できます）

ソフトパズ理工学研究センター（SPERC：吉本則之センター長）内の計算化学グループ長の是永をリーダーとして「計算化学主導による分子創製基盤の構築」プロジェクトが始動しております。

今回、分子創製の出口目標の1つである有機材料化学に焦点を当て、岡山大学の西原康師先生および本学若手・中堅教員によるミニシンポジウムを開催します。

プログラム

14:00～14:05 趣旨説明 SPERCプロジェクトリーダー 是永敏伸

14:05～14:40

村岡 宏樹 先生（岩手大学 理工学部 化学コース 助教）

「1,1,2,2-テトラキス(5-アリール-2-チニル)エチン誘導体の凝集誘起発光特性」

14:40～15:15

木村 毅 先生（岩手大学 研究推進機構 准教授）

「カルコゲン官能基を有するフタロシアニンの合成とその性質」

15:15～15:50

葛原 大軌 先生（岩手大学 理工学部 マテリアルコース 准教授）

「新奇機能性色素の合成」

16:00～17:30 招待講演

西原 康師 先生（岡山大学 異分野基礎科学研究所 教授）

「クロスカップリングを用いる有機半導体材料の創製」



招待講演者のご紹介

西原先生は、有機金属錯体触媒を利用した新規有機合成反応の開発と機能性材料への展開について多くの研究業績を挙げられている研究者で、ACT-Cの研究代表者としても活躍されておりました。

今回、有機反応技術を駆使した、有機半導体材料の開発に関してご講演頂く予定です。

問合せ先

是永 敏伸（岩手大学 理工学部 化学コース）
korenaga@iwate-u.ac.jp